

静岡市 景観資源

しずおか景観宝探し



ぼくたちと
「探しにいこう!!!」



静岡市 都市局 建築部 建築総務課 都市景観推進係 (静岡庁舎新館5階)
〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号 TEL:054-221-1123
静岡市のホームページ: <http://www.city.shizuoka.jp/>

 静岡市

発行: 2015年3月

静岡市らしい景観とは

わたしたちのまち静岡市は、富士山の眺望や南アルプス、駿河湾をはじめ安倍川や有度山など多彩な自然景観に恵まれています。また、歴史・文化を色濃く残す東海道の宿場町などの伝統景観、中心市街地やにぎわいのある商業地などの都市景観など、豊富な景観が形成されています。

景観資源とは

けいかんじゅうようけんぞうぶつ けいかんじゅうようじゅもく ちいきけいかんしげん
(景観重要建造物、景観重要樹木、地域景観資源)

静岡市内には地域の風土や歴史、文化を感じさせる、又は創り出すことができる、シンボルやランドマーク的存在となる建造物や樹木など、地域の景観上重要な資源が点在しています。

これらの景観資源を、景観法に基づく「景観重要建造物」、「景観重要樹木」、静岡市景観条例に基づく「地域景観資源」として指定し、積極的に保全するとともに、地域の個性ある景観づくりの核として活用を図ります。



静岡市における景観資源の指定方針

一景観資源として指定されるためには、条件があります一

■建造物

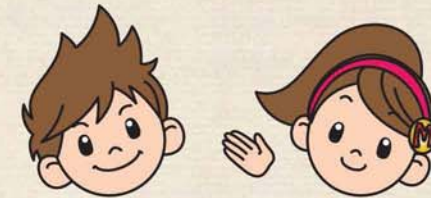
市民に親しまれている建造物であり、道路その他の公共の場所から望見することができ、次に示す事項に該当する建造物を指定します

- 優れたデザインを有し、地域のランドマーク的存在であるもの
- 街角やアイストップに位置する等、地域の景観形成に取り組む上で重要な位置にあるもの
- 地域の風土、歴史、文化を感じさせる、又は創出することができるもの

■樹木

市民に親しまれている樹木であり、道路その他の公共の場所から望見することができ、次に示す事項に該当する樹木を指定します

- 樹姿（樹高や樹形）が、地域のランドマーク的存在であるもの
- 地域の風土、歴史、文化を感じさせる樹木であるもの
- 街角やアイストップに位置する等、地域の景観形成に取り組む上で重要な位置にあるもの



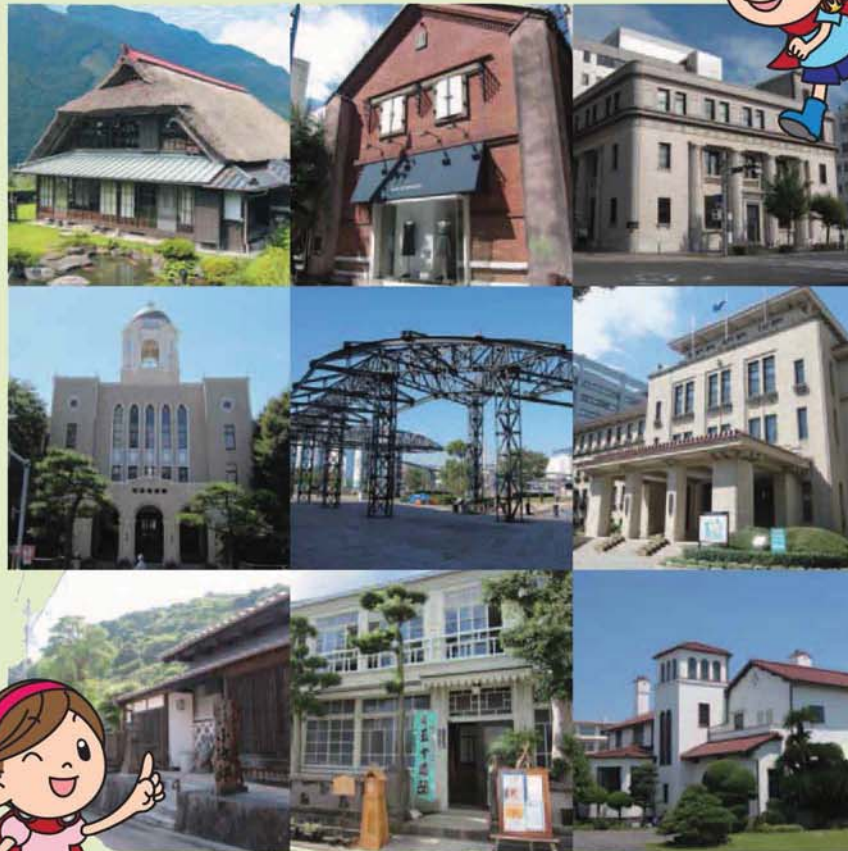
※1 ランドマーク 歴史的な建造物や樹木といった、その地域、地区、敷地を象徴する景観要素のことをいいます。

(参考文献：建築大辞典 彰国社)

景観資源を巡ろう

静岡市では、市内に点在する景観上重要な建造物や樹木を景観資源として13件指定しています。それぞれの景観資源が、静岡市らしい景観をつくり出しています。

ぼくたちと一緒に
見に行こう！



景観資源の位置図

景観重要建造物

- 1 大村家住宅
おおむらのけしゅうたく
かくさん やざわれんがくら
- 2 三矢澤煉瓦蔵
しずおかきんこうほんてん
- 3 静岡銀行本店
しずおかきんこうほんてん
きゅうしずおかきんじゅうごきんこうほんてん
(旧静岡三十五銀行本店)

景観重要樹木

- 4 静岡市役所本館
しずおかしやくしょほんかん
- 5 清水港テルファー
しみずこう
- 6 静岡県庁本館
しずおかけんちょうほんかん
- 1 中薬科小学校のイチヨウ
なかわらしなしょうがっこう
- 2 石蔵院のお葉付イチヨウ
せきぞういん はつぎ
- 3 但沼神社のクス
ただぬましんじや

地域景観資源

- 1 東海道名主の館
とうかいどうなぬし やかた
こいけけしゅうたく
(小池家住宅)
- 2 旧五十嵐歯科医院
きゅういごらししかいいん
- 3 旧マッケンジー住宅
きゅうまっけんじーじゆうたく
しみずとうだいいみほとうだいい
- 4 清水灯台(三保灯台)



おおむらけじゅうたく
大村家住宅

所在地 あおいくひらの
静岡市葵区平野 1052 番地

アクセス ひらののはら
電車：しずてつジャストライン安倍線「平野原」バス停より徒歩 10 分

見学案内 しきち
敷地外からの見学のみ。
内部見学はできません。

案内が出ています



資源情報

けんちく えど
建築年：1865 年(江戸末期)
こうぞう
構造：木造 2 階建
とくちょう かぶとづくよ かやぶ
特徴：兜造りと呼ばれる茅葺き屋根を有する民家であり、周辺

見どころ情報

の山並みとも調和しています。

昔から大切に守りつがれ、現在も住まいとして利用されています。
30年に一度葺き替えられている茅葺き屋根や、青々とした庭の芝生も、きちんと手入れが行きとどいていて、生き生きとしていることがわかります。



庭の様子



沿道からの様子

**屋根も芝生も
ちゃ〜んと手入れされて
守られているんだ!**



※2 兜造り 屋根の形が兜に似ているため、このように呼ばれています。屋根裏を蚕室とするために妻部分の屋根を切り下げて開口部をとっています。関東西部、山梨、長野、新潟、福島、山形などの各県に広く分布する茅葺き寄棟造りの民家形式のひとつとなっています。

※3 茅葺き 茅を材料として屋根を葺くことで、古い民家などに見られるものです。(参考文献：建築大辞典 彰国社)

かくさん や ざわ れん が くら

矢澤煉瓦蔵

所在地

あおいくしちけんちよう
静岡市葵区七間町 8 番地 4

アクセス

電車：JR静岡駅、静岡鉄道「新静岡駅」より徒歩 10 分

見学案内

しきち
敷地外からの見学のみ。

内部見学(一部のみ)は

てんぼ
店舗利用の方以外

できません。



資源情報

けんちく

建築年：明治時代

こうぞう

構造：煉瓦造 2 階建

とくちょう

特徴：漆器店の倉庫として建築され、これまで静岡大火や戦


災をのりこえてきました。赤レンガが七間町のまちな

みにアクセントを加え、特徴ある景観をつくりだして

います。

見どころ情報

昭和20年6月、このあたり一面は戦争により焼け野原になりました。ほとんどの建物は焼けてしまいましたが、「矢澤煉瓦蔵」はかろうじて残りました。

名称にも取り入れられている屋号の「」は、漆器店の時代からこの建物に掲げられています。かつて漆器産業は静岡の地場産業を代表するものとして栄えていましたが、その歴史をとどめている数少ない建築物です。



屋号「」の様子

たくさんの災難を
乗り越えて
きたんだね!



静岡大空襲直後の様子
「七間町物語」－七間町百年の記憶(七間町町内会)」



しずおかぎんこうほんてん きゅうしずおかさんじゅうごぎんこうほんてん

静岡銀行本店(旧静岡三十五銀行本店)

所在地

あおいくこぶくちょう
静岡市葵区呉服町一丁目 10 番地

アクセス

電車：静岡鉄道「新静岡駅」より徒歩 12 分

バス：しずてつジャストライン^{まりこ}丸子線ほか

なかちょうしずおかてんまんぐうまえ
「中町静岡天満宮前」バス停より徒歩 1 分

見学案内

しきち
敷地外からの見学のみ。

内部見学(一部のみ)は

てんぼ
店舗利用の方以外

できません。



資源情報

けんちく

建築年：1931 年(昭和 6 年)

こう

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建地下 1 階

とく

特徴：ドリス式^{※4}円柱と、石造風のどっしりとしたつくりが特

徴的です。呉服町の交差点^{いち}に位置し、歩く人の視線^{しせん}を引

きつけ、市街地の近代化の歴史を感じさせます。



見どころ情報

ひょうじ
出入口の上に表示された銀行名のプレートが右から書かれて
いて、歴史を感じさせてくれます。

まど てすりこうし とひら わく かざ
窓の手摺格子や、扉の枠の飾り、ライオン形の取っなど、細かい
ところまでしっかりと造^{つく}られています。



ギリシャの
神殿^{しん ぜん}みたいで
かっこいいね!

出入口の様子



ドリス式円柱



※4 ドリス式 古代ギリシャ建築の列柱様式の一つで、最も古い時期のものです。柱にはエンタシスと呼ばれる膨らみがあり、簡素な柱頭を持っています。
(参考文献:建築大辞典 彰国社)

しずおか しやくしよほんかん
静岡市役所本館

所在地

あおいくおうてまち
静岡市葵区追手町5番1号

アクセス

電車：静岡鉄道「新静岡駅」より徒歩5分 JR静岡駅より徒歩10分

バス：しずてつジャストライン安倍線・大浜麻機線ほか
「県庁・静岡市役所葵区役所前」バス停より徒歩1分

見学案内

開庁時間：午前8時30分から午後5時15分

閉庁日：土日祝日
年末年始



資源情報

けんちく
建築年：1934年(昭和9年)
こうぞう
構造：鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)4階建ドーム付
とくちょう
特徴：テラコッタを多用した外壁と、モザイクタイル貼りの

ドームを持った塔が特徴的です。



見どころ情報

この塔は「あおい塔」と呼ばれ、静岡のまちのシンボルとなっています。細かな装飾もかわいらしいですね。

市役所本館の南側にある庭は、水と緑があふれ、訪れる人々の憩える場となっています。

あおい塔の様子



庭の様子

お城みたくステキ!



- ※5 テラコッタ 建築物の外装用、特にバラベットの、柱頭などの複雑な模様のある大型の粘土製品のことをいいます。
- ※6 モザイクタイル 装飾仕上げ用の小型タイル。陶器質のものとは磁器質のものがあり、色彩、形状ともに種類が多くあります。
(参考文献：建築大辞典 彰国社)

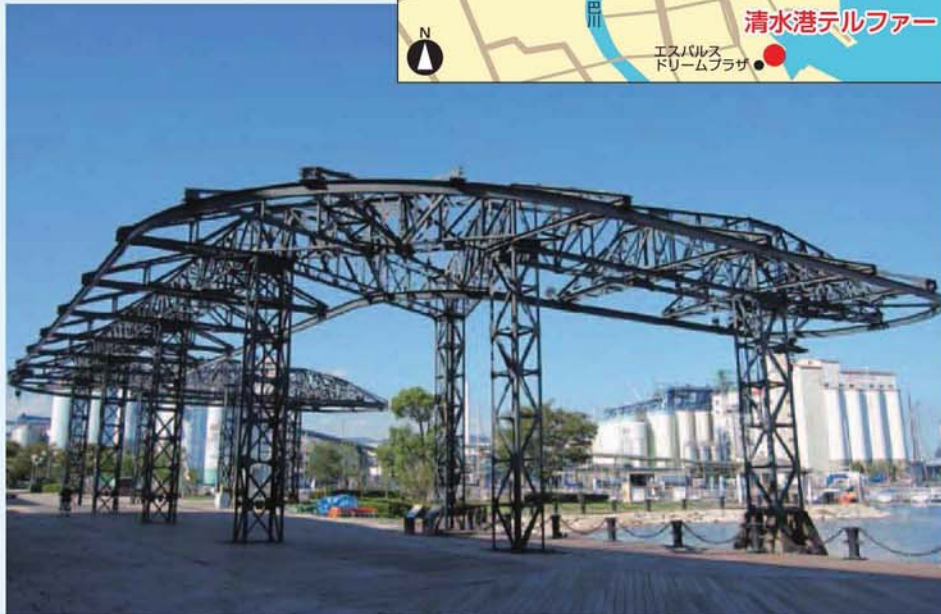
しみすこう
清水港テルファー

所在地 しみすくしんみなとちよう
静岡市清水区新港町7番地7

アクセス
電車：静岡鉄道「新清水駅」より徒歩11分
バス：しずてつジャストライン三保山の手線「波止場」バス停より徒歩1分

見学案内 見学時間：いつでもご覧いただけます。

見学料：無料



資源情報

ちくぞう
築造年：1928年(昭和3年)
こうぞう てっこつ
構造：鉄骨造
とくちょう
特徴：清水港の歴史を物語る鉄骨トラス構造で、港の風景に調和し、清水マリンパークのシンボルの一つとなっています。

見どころ情報

当時は木材を船や筏から貨車へと積みこむ荷あげクレーンとして設置され、昭和46年までの43年間活躍しました。
清水港テルファーはイベント広場やボードウォーク、ヨットハーバーなど、きれいに整備されたマリンパークの中にあります。

こんなふうに
活躍していたんだ！
カッコイイ！



木材を荷あげしている様子



設置された当時の写真
【清水港開港100年史(静岡県)】

※7 鉄骨トラス構造 各節点がピンで一般に各部材が三角形を構成するような骨組のことをいいます。

(参考文献:建築大辞典 彰国社)

しずおかけんちょうほんかん

静岡県庁本館

所在地

あおいくおうてまち
静岡市葵区追手町9番6号

アクセス

電車：静岡鉄道「新静岡駅」より徒歩5分 JR静岡駅より徒歩10分

バス：しずてつジャストライン安倍線・大浜麻機線ほか
おほまあさばたせん

「県庁・静岡市役所葵区役所前」バス停より徒歩1分

見学案内

開庁時間：午前8時30分から午後6時

閉庁日：土日祝日、年末年始



資源情報

けんちく

建築年：1937年(昭和12年)

こうぞう

構造：鉄筋コンクリート造4階建(一部5階建)

とくちょう

特徴：建てられた当時の流行をよく示す帝冠様式の建物です。

がいへき かわらぶ たいしょう
石造風の外壁と赤色の瓦葺き屋根を有し、左右対称で

安定感のある外観となっています。

見どころ情報

しちけんちょうどお
静岡県庁本館は、七間町通りから見たときに正面に見える

はいち せい
よう配置されていて、シンボル性の高い景観となっています。

周辺の高木とも調和しています。



北側の景観



正面の様子

中心からみると
右側と左側のつくりが
同じになっているね。



※8 帝冠様式 昭和初期ナショナリズムの台頭を背景として、無国籍または国際的な様式の近代主義建築に対抗して主張された様式です。構造は鉄筋コンクリート造または鉄骨造で、これに伝統的な屋根を載せるのを最大の特色とします。

(参考文献：建築大辞典 彰国社)

とう かい どう な めし やかた こ いけ け じゅう たく
東海道名主の館(小池家住宅)

所在地 しみずく ゆ いでら お
 静岡市清水区由比寺尾 464 番 9

アクセス
 電車：J R由比駅より徒歩 10 分

見学案内
 開館時間：午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分(3 月～10 月)
 午前 9 時 30 分から午後 4 時(11 月～翌年 2 月)

休館日：毎週月曜日、
 祝日の翌平日、年末年始

入場料：無料
 駐車場：無料
 施設連絡先：054-376-0611



資源情報

けんちく
 建築年：明治時代
 こう ぞう ひら や
 構造：木造平屋建
 とく ちよう かむらぶ ひらい
 特徴：瓦葺き平入りの屋根、潜り戸つきの大戸、なまこ壁
 など、旧東海道沿いの由比寺尾地域の民家の面影を
 伝えています。

見どころ情報

お庭もきれいに管理されており、その一角には水琴窟すいきんくつがあります。
 緑あふれる空間の中で、美しい音色を楽しむことができます。
 建物の外回りの石垣いしがきは、百年前のすがたをそのままに残して
 います。



出入口の潜り戸となまこ壁



庭の様子

**水琴窟は、耳をすませると
 美しい音色が聞こえるよ!**



- ※9 潜り戸 室町末期以後、壁や戸や扉の一部に付けてある出入り用の小さい戸、またはそうした戸を持つ出入口の総称です。
- ※10 なまこ壁 主に土蔵造りの建物の外壁仕上げです。方形の平瓦を並べ四隅を釘止めとし、目地に漆喰を盛り上げてその断面を海鼠形(半円形)にしたものをいいます。江戸時代の初め、武家屋敷の長屋や長屋門の壁に始まり、民家の土蔵造りの腰壁にも使われるようになりました。
- ※11 水琴窟 吸い込み穴の下に設けた伏瓶または伏鉢を使い水を滴下させ、その滴下音を空洞内に反響させて、その音を楽しむ装置のことをいいます。(参考文献：建築大辞典 彰国社)

きゅう い がら し し か い いん
旧五十嵐歯科医院

所在地 しみすく かんばら
 静岡市清水区蒲原三丁目 23 番 3 号

アクセス
 電車：J R 新蒲原駅より徒歩 7 分

見学案内
 開館時間：午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分

休館日：毎週月曜日、
 祝日の翌平日、年末年始

入場料：無料

ちゆうしゆ
 駐車場：無料

しせつれんらく
 施設連絡先：054-385-2023



資源情報

けんちく
 建築年：大正以前(江戸もしくは明治時代)

こう ぞう
 構造：木造 2 階建

とく ちよう
 特徴：町家として使われていた建物が歯医者さんとして改修
 されました。寄棟屋根、^{※12}下見板ペンキ塗りの外壁など、
 外側は洋風のつくりをしています。



見どころ情報

建物の内部は洋風の見ためとは対照的に、町家の特徴を残した和風のつくりとなっています。旧五十嵐歯科医院をはじめとする蒲原地区の貴重な建物を保存するために、市民活動の拠点としても親しまれています。



裏庭の様子



下見板の様子



見ためは洋風なのに
 おうちの中は和風なんて
 めずらしいね！

※12 下見板 ^{かべ} 壁の横板張り ^ぼ で、板を下から互いに少しずつ重なり合うように取り付けたものをいいます。(参考文献:建築大辞典 彰国社)

きゆう じゆう たく
旧マッケンジー住宅

所在地 する が く たかまつ
静岡市駿河区高松 2852 番地

アクセス はましきじ
バス：しずてつジャストライン石田街道線「浜敷地」より徒歩 5 分

見学案内 開館時間：午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分

休館日：毎週月曜日、祝日の翌平日、年末年始

入場料：無料

ちゆうしや わき
駐車場：無料(門の脇に駐車

スペースがあります)

しせつれんらく
施設連絡先：054-237-0573



資源情報

けんちく
建築年：昭和 15 年
こう ぞう とう
構造：木造 2 階建地下 1 階塔屋付
とく ちよう かわらぶ め しらかべ
特徴：赤い西洋瓦葺きの屋根やコテ塗り仕上げの白壁など、
スパニッシュスタイルのつくりになっています。

見どころ情報

ぼうろう まど わん
望楼や室内の窓からは、広大な駿河湾を見ることができます。
赤い瓦とアーチ型の窓が西洋の雰囲気を感じさせてくれます。



出入口の様子



窓からの風景

ステキなおうち！
まるで外国に来たみたい！



※13 スパニッシュスタイル 1850年まで長くスペインの支配下にあったカリフォルニアに根付いたもので、赤瓦と白いスタッコ壁、玄関回りなどの要所に際立ったレリーフ装飾を付し、装飾タイルやロートアイアンの手摺り飾りなどを備えているものです。

(参考文献:ヴォーリス建築の100年 (株)創元社)

しみすとうだい みほとうだい
清水灯台（三保灯台）

所在地 しみす みほ
静岡市清水区三保2109番2

アクセス バス：しずてつジャストライン三保山の手線・三保草薙線
「三保本町」バス停より徒歩15分

見学案内 敷地外からの見学のみ。



資源情報

ちくそう
築造年：明治45年
こうそう
構造：鉄筋コンクリート造
とくちょう
特徴：明治45年に日本初の鉄筋コンクリート造の灯台として
ちくそう はごろも てんによ かざみどり
築造され、羽衣の天女をかたどった風見鶏や松原の中に
はくあ
映える白亜の外観が特徴となっています。

見どころ情報

三保松原の中に建ち松原や海岸の景観と調和しています。
築造当時の姿を現在に残しています。



かざみどり
風見鶏が
てんによ
天女の姿をしているね！

1 景観重要樹木（けいかんじゅうようじゅもく）

なかわらしなしょうがっこう

中藁科小学校のイチョウ

所在地

あおいくおおほら
静岡市葵区大原942番地1

アクセス

バス：しずてつジャストライン^{わらしな}藁科線
「中藁科学校入口」バス停より徒歩3分

見学案内

登校日のみ敷地内で見学可能です。
（事務室までお問い合わせください）



資源情報

じゅ しゅ
樹 種：イチョウ
がく めい
学 名：Ginkgo biloba(ギンゴウ・ビロバ)
とく ちよう えんけい
特 徴：中藁科小学校の校庭の中央にあり、遠景の山々、
ちゆうけい きんけい
中景の校舎、近景のイチョウが一体となった景観を
けいせい
形成しています。

見どころ情報

こうよう
黄葉時には周囲の景観と美しい対比^{たいひ}をなしています。

学校行事にも取入れられ、地域のランドマークになっています。



グラウンドの真ん中
にあるなんて
めずらしいね！

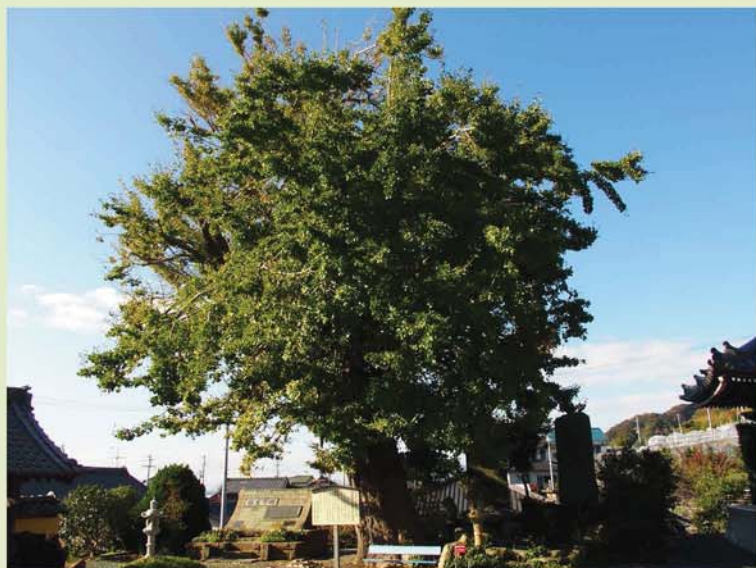


せきそういん はつき
石蔵院のお葉付イチョウ

所在地 するがく あご
静岡市駿河区安居271番

アクセス いしだかいどう
バス：しずてつジャストライン石田街道線
「安居」バス停より徒歩4分

見学案内
敷地内での見学可能です。



資源情報

じゅ しゅ
樹 種：イチョウ
がく めい
学 名：Ginkgo biloba(ギンゴウ・ビロバ)
とく ちょう するがわん のぞ くのうちさんさんぶく せきそういんけいだい
特 徴：駿河湾を望む久能山山腹に位置する石蔵院境内にあり、
駿河湾からのしおかぜにさらされながらも、存在感を示す
地域のランドマークとなっています。

見どころ情報

きこん むす きちょう せいたい
※14
気根や葉の上に実を結ぶことなど貴重な生態であることで、
「お葉付イチョウ」として親しまれています。



風にも負けないで
がんばって育っているんだね

※14 気根 植物の地表に出ているくきやみせから出て、空気中にあらわれている根のことをいいます。
(参考文献：大辞泉 株式会社小学館)

ただぬま

但沼神社のクス

所在地

しみずくただぬまちょう
静岡市清水区但沼町386番地1

アクセス

バス：しずてつジャストライン三保山の手線
「但沼車庫前」バス停より徒歩2分

見学案内

敷地内での見学可能です。



資源情報

樹種：クスノキ
 学名：Cinnamomum Camphora (ミナモム・カンフォラ)
 特徴：集落の中の少し高い土地に位置する但沼神社境内にあり、鳥居、神社の社殿、樹林を含めて印象的な眺望景観を形成しており、住民に親しまれています。

見どころ情報

但沼神社境内に寄り添うように立ち、見るものを圧倒するランドマークとなっています。

長い間、みんなを見守っていたんだね

